

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【公開番号】特開 2018-143510 (P2018-143510A)

【公開日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-036

【出願番号】特願 2017-41500 (P2017-41500)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 2 C

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 6 日 (2019.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技板の前面に備えた遊技領域に遊技球を打ち込んで、その遊技領域の右側領域か左側領域かに遊技球を流下させて遊技を行う遊技機であって、

前記遊技板の前面から突出して前記遊技領域の外側の境界線を特定し、その外側の境界線を遊技球が超えることを規制する外側の流下規制突部と、

前記遊技板の前面から突出して前記遊技領域の内側の境界線を特定し、その内側の境界線を遊技球が超えることを規制する内側の流下規制突部と、

前記内側及び外側の流下規制突部から遊技球 1 つ分以上離間した位置で前記遊技板の前面から突出し、遊技球の流下経路を複数に分割することが可能な経路分割突部と、

前記経路分割突部の 1 つとして設けられ、側面に入賞口を有する特別経路分割突部と、

前記入賞口の下端側を中心に回動して、前記入賞口への遊技球の入賞を規制する入賞困難位置と、前記入賞口の側方側に張り出し、前記入賞口に遊技球を案内する入賞容易位置との間を移動する可変部材とを備え、

前記可変部材が前記入賞容易位置に配置された状態で前記入賞口の斜め上方を横切りかつ前記内側又は外側の流下規制突部に接する直線である入賞線分と前記特別経路分割突部に囲まれた入賞容易領域が、遊技球 1 つ以上の大きさでかつ、前記入賞線分を通過する以外の遊技球の進入経路を有さずかつ、前記入賞口以外の遊技球の退出経路を有さず、前記経路分割突部を有しないことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記入賞容易位置の前記可変部材の先端を基準点として、その基準点から前記入賞口側に延ばした仮想基準線を前記基準点を中心に上方に回動したときに、前記基準点と前記特別経路分割突部の間を結ぶ線分が、前記経路分割突部より先に接する基準接触部を前記内側又は外側の流下規制突部に設け、前記基準接触部に接する前記線分を前記入賞線分とした請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特別経路分割突部は、縦長形状になっている請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記特別経路分割突部の側面のうち前記入賞口より上側部分から側方に張り出す側面突部が備えられている請求項 2 又は 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記基準接触部は、前記側面突部より下方に配置されている請求項 4 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記遊技板の前面に一側部が宛われかつ湾曲した帯状部材で少なくとも一部が構成されて全体が環状をなし、前記遊技領域内に打ち込まれる遊技球を案内するガイドレールと、前記遊技板のうち前記ガイドレールの内側に貫通形成された演出用開口と、前記演出用開口の内側に配置されて遊技の演出を行う演出手段と、前記遊技板の前面のうち前記演出用開口の開口縁から前方に突出する枠突壁と、を備え、

前記外側の流下規制突部は、前記ガイドレールと、前記ガイドレールに遊技球 1 つ分より接近した位置に配置されて、前記遊技板の前面から突出する第 1 の近接突部とで構成され、

前記内側の流下規制突部は、前記枠突壁と、前記枠突壁に遊技球 1 つ分より接近した位置に配置されて、前記遊技板の前面から突出する第 2 の近接突部とで構成されている請求項 1 乃至 5 の何れか 1 の請求項に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記基準接触部は、前記第 1 又は第 2 の近接突部に備えられている請求項 6 に記載の遊技機。

【請求項 8】

前記基準接触部を備える前記第 1 又は第 2 の近接突部は、前記遊技板の前面に固定された樹脂部材である請求項 7 に記載の遊技機。

【請求項 9】

前記基準接触部を備える前記第 1 又は第 2 の近接突部は、前記遊技板の前面から突出し、かつ互いに遊技球 1 つ分よりも狭い間隔で纏めて配置された複数の障害釘で構成されている請求項 7 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するためになされた請求項 1 の発明は、遊技板の前面に備えた遊技領域に遊技球を打ち込んで、その遊技領域の右側領域か左側領域かに遊技球を流下させて遊技を行う遊技機であって、前記遊技板の前面から突出して前記遊技領域の外側の境界線を特定し、その外側の境界線を遊技球が超えることを規制する外側の流下規制突部と、前記遊技板の前面から突出して前記遊技領域の内側の境界線を特定し、その内側の境界線を遊技球が超えることを規制する内側の流下規制突部と、前記内側及び外側の流下規制突部から遊技球 1 つ分以上離間した位置で前記遊技板の前面から突出し、遊技球の流下経路を複数に分割することが可能な経路分割突部と、前記経路分割突部の 1 つとして設けられ、側面に入賞口を有する特別経路分割突部と、前記入賞口の下端側を中心に回転して、前記入賞口への遊技球の入賞を規制する入賞困難位置と、前記入賞口の側方側に張り出し、前記入賞口に遊技球を案内する入賞容易位置との間を移動する可変部材とを備え、前記可変部材が前記入賞容易位置に配置された状態で前記入賞口の斜め上方を横切りかつ前記内側又は外側の流下規制突部に接する直線である入賞線分と前記特別経路分割突部とに囲まれた入賞容易領域が、遊技球 1 つ以上の大きさでかつ、前記入賞線分を通過する以外の遊技球の進入経路を有さずかつ、前記入賞口以外の遊技球の退出経路を有さず、前記経路分割突部を有しないことを特徴とする遊技機である。